鈴鹿8耐への想い

関西支部長　Ｅ60　山本　英昭



下松工業　Ｅ60年卒の大阪在住の山本と申します。工業会様からの原稿依頼により今回　弊社がメインスポンサーとして協賛しております鈴鹿８時間耐久ロードレースチーム、『team ウィルデザイン with Tkm』についてお話させて頂きたいと思います。

まずは、チームの生い立ちからですが、２輪のレーシングチームＴｋｍとの出会いは突然変な場所から始まります。私の行きつけの居酒屋のオーナーがなんと国際Ａ級ライダーで鈴鹿８時間耐久ロードレースに幾度となく参戦していた戦歴をもつ強者だということを彼との談義のなかで知る運びとなりました。

オーナー（木村氏）曰く、10回にわたる鈴鹿８耐出場を目指しているのですが、夢半ば８度目の出場を目の前にして足踏み状態であると・・・レースに参戦するには多額の費用がかかります。バイク本体、レーシングカウル、競技用レーシングタンク、スリックタイヤ、ブレーキ、ホイール等々、ハード面、ソフト面（メカニック、サポーター人員）それはもう素人の私が想像できる範囲を優に超えている夢のような世界です。

私の若い頃はモータースポーツ全盛期でした。鈴鹿サーキットに初めてＦ１がきたのを今でも鮮明に覚え、又私自らも毎年鈴鹿８耐観戦に足繁く通っておりました。

そんなことから、木村氏と幾度となく熱く８耐話をするなった次第です。

まさか私自身が鈴鹿８時間耐久レースに出場するレーシングチームのオーナーになろうとは・・・昨年11月末寒空での出来事です。

当然ながらこの原稿を執筆している現在11月は２０１４年鈴鹿８時間耐久ロードレースは終わっています。

今年の８耐は天候に左右され（豪雨）スタートが１時間遅延の波乱に満ちたレースとなりました。我がチームは無事完走はしましたが、



うちに、すっかり８耐に洗脳、魅了され、よし、ここで10回参戦の夢を我が社とともに実現しようと半ば軽いノリで引き受けるはめとなりました。

規定周回数に２周足らずで公式順位は頂けませんでした。なぜ公式順位が頂けなかったかと言いますと豪雨後（マシンは雨ざらし）のスタートでマシントラブルによりエンジン始動ができずピットからの再スタートとなった為でした。

チーム員におされピットに戻ってきたマシンは全くエンジンが始動せず、鉄馬ではなく、ただの鉄クズと化していました。

再度、鉄馬に火を取り戻すため、メカニックの必死の復旧作業が始まりました。

試行錯誤の末、雨による漏電でメインヒューズが溶断し始動不能となったことが原因であると判明しました。

では、何故、漏電が起きたのか？

８耐レースは終盤夜間走行があるためヘッドライトの設置が義務づけられています。

我社のマシンも規定を守るためレース用ＨＩＤヘッドライトを取り付けたのですが、接続コネクターの圧着が甘く、これが原因で漏電が起きてしまいました。

８耐本戦までの公式練習を幾度も重ね、メカニックとライダーによる入念なエンジン、サスペンション、ブレーキ、タイヤの設定を繰り返し、一度も大きなマシントラブルや練習走行による転倒もなく本戦を迎えました。本戦を戦う準備は全て整っていたかのように見えましたが、そこは魔物が住むといわれる鈴鹿でした。レースは何が起こるかわからないと言う言葉が身に染みた瞬間でした。

小雨での走行テストは実施していましたが、豪雨（土砂降り）でのテストは経験がありませんでした。

この間修理に費やした時間が約60分です。60分あればコースを約24周回ることができます。

余談ですが、隣りのピットではコース上でマシンが転倒し悲惨な状況でどうにか戻ってきたのを目にしました。それから数10分後リタイヤなのかなと、ふと隣りのピットを見るとエンジンが野太い咆哮たてボロボロだったカウルも新品カウルへと交換され、今まさに出陣と、ライダーが気合を入れまたがった瞬間でした。その間費やされた時間は20分間。



我社のマシンといえば外装は無傷。メインヒューズが溶断しなければ好成績が望めたと思うと非常に悔しく残念でなりませんでした。

現在は、気持ちを切り替え、早くも来期２０１５年鈴鹿８時間耐久レースに向けての挑戦が始まっております。

８時間耐久レース２年目のチャレンジ開始です！。

２０１４年度の悔しさを励みにかえて、必ず成果が出せるようチーム一丸となって邁進する所存ですので、皆様応援の程宜しく御願い致します。

詳しい情報は http://www.willdesign7.com 「ウィルデザイン」で検索。

登山部ＯＢ会設立に際して

登山部顧問　細木　祐吾

この度の登山部ＯＢ会の設立にあたり、心よりお祝い申し上げます。

私が本校の登山部顧問として関わったこの十一年間の卒業生とはこれまでも様々な形でおつきあいさせていただいていましたが、それ以前のＯＢの方々とは面識すらありませんでした。しかし、昨年度の全国高校総体優勝に際して下松工業会の方で盛大な祝賀会を開いていただき、昔のＯＢの方から当時の登山部の様子を伺うことができました。そして、この会に出席してくださった方々を中心に、登山部ＯＢ会が昨年七月に設立されました。設立総会では、昭和五十二年卒の今村会長、昭和五十四年卒の高橋副会長、昭和六十年卒の山本様をはじめ昨春卒業したばかりの者まで十六名のＯＢが出席、顧問として黒田様、工業会から槌尾様もご出席いただきました。

本校の登山部に関わった者同士が世代を超えて交流を深めていけることは、十二年間顧問として関わってきた私にとって非常に喜ばしいことであり、感慨深い時間を過ごさせていただきました。全国高校総体に出場する選手たちへも温かな激励やご支援をいただき、本当に感謝しています。

今年度の全国高校総体では九位に終わり、ＯＢの方々のご期待に添えるものではありませんでしたが、出場した選手はもちろん他の部員達もそれぞれの立場で全力を尽くしてくれました。

多くのＯＢの方々が築いてこられた本校登山部の伝統を大切にし、部員達が人間的に成長できるような活動を続けていくとともに、登山部ＯＢ会のますますのご発展をお祈りしたいと思います。



第３号
発行責任者　河村正浩
一般社団法人　下松工業会
〒744-0012　下松市北斗町12番4号
事務局　下松工業同窓会館
TEL（0833）43－1336
FAX（0833）41－7448
URL:http://www.kudakokai.org
E-mail:kogyokai@triton.ocn.ne.jp

母校百周年
～結集しよう～

母校は平成三十三年に創立百周年を迎えます。大正九年十二月十五日、文部省告示第四五三号で設置認可を受け、校名を山口県立下松工業学校と決定しました。

山口県知事は同年十二月二十四日に告示し、翌大正十年四月一日、機械科、応用化学科を設置して開校されました。この時から数えて、平成三十三年が百周年の節目を迎えることになるわけです。当時県内には県立中学校が七校、県立女学校が二校、県立農業学校、商船学校がそれぞれ一校でした。これを見ても当時の工業学校は、非常に設立が難しいものであったことが理解頂けると思います。

こうして誕生した母校は、爾来幾多の星霜を経て工業立国日本の「ものづくり戦士」を輩出し、世上からは社会に貢献する人材を育ててくれたと評価を頂いていますが、これも偏に同窓生諸氏の積年にわたるご労苦の賜物と深く感謝致しております。

こうした一世紀に近い諸先輩の業績を顕彰し、これを後輩の皆さんへ是非とも受け継いで頂きたいとの思いを持っています。

こうした背景の中で、現在私共下松工業会では創立百周年の記念事業を鋭意計画致しております。

来る百周年は大きな節目であり母校・当工業会にとりましても創立以来の大事業になると考えられます。

記念事業は基本計画を策定し、募金目標二千三百万円として既に昨年より事業基金の募集を開始致しております。

募金は一度にお願いすることは、大変厳しいと承知しておりますので、数年にわたり少しづつ提供いただく「積立方式」で、対応頂ければと考えております。この「積立方式」は、既に平成二十五年度から実施しておりますので、ご協力下さいますよう改めてお願い致します。

現在約一万八千人の同窓生がおられますが、この内下松工業会会員は約千六百名です。これは社団法人制度の変革により、会費納入者をもって会員とするよう、行政官庁の指導により、定款が変更されたためです。

当工業会では、未会員同窓生の皆様が一名でも多く、入会され、会費を納入下さるよう、あらゆる機会を通じてお願いしております。

百周年記念事業の実現に向けて、同窓生、会員各位の一層のご理解・ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

事業計画

1　記念事業計画

(1) 記念式典　（平成３３年１１月日時未定）
(2) 同窓会記念祝賀会　（平成３３年１１月日時未定）
(3) １００周年記念ゴルフコンペ（平成３３年１０月上旬）
　中須ゴルフ倶楽部
(4) 記念事業

①母校教材等の充実	500万円
②記念講演	150万円
③諸事業・事務費	150万円
④創立１００周年記念史	500万円
⑤下松工業会館のリニューアル	1,000万円

2　募金計画

(1) 募金目標額　2,300万円
(2) 募金額　1口　2,000円以上
(3) 募金期間　平成２５年7月１０日～平成３３年3月末日まで

尚、１人、１万円程度を目標としており、毎年、積立方式でご協力いただけると幸甚です。

趣意書

山口県立下松工業高等学校創立百周年記念趣意書

謹啓

各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、山口県立下松工業高等学校は平成三十三年に創立百周年を迎えることに成りました。これまでの長い歴史と伝統のなかで、一八、〇〇〇余名の人材を地元周南地域をはじめ、全国各地の企業に送り出し、わが国産業経済の発展に大きく貢献して参りました。

さらにこうした実績に加え、少子高齢化の進行、グローバル化・高度情報化の進展など、社会情勢が急速に変化する中、新たな時代のものづくり産業を支える人材を育成する必要性から、ものづくりなどの体験学習を通じて実践力の育成に努め、「地域産業を担う人材の育成」を重点目標に、知識・技能の向上に向け、様々な取り組みがなされているところでございます。

こうしたなかで迎えます平成三十三年は、これまでの輝かしい伝統を回顧し、明日への隆昌に思いを巡らす創立百周年という記念すべき節目の年であります。

一般社団法人下松工業会（山口県立下松工業高等学校同窓会）では、この慶事を記念して母校と一体となって創立百周年記念事業の実行委員会を組織し、別葉に示す記念事業を行うことと致しました。

就きましては、この趣旨にご理解ご賛同を頂き、本事業が有意義に完遂できますよう、格別のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬白

平成二十六年八月吉日

山口県立下松工業高等学校創立百周年記念事業実行委員会
　委員長　河村　正浩
一般社団法人下松工業会（山口県立下松工業高等学校同窓会）
　会長　河村　正浩
山口県立下松工業高等学校
　校長　上田　晃久

詳しくはホームページをご覧下さい

新旧校長歓送迎会



5月15日　前校長　村中　一雄　先生　現校長　上田　晃久　先生　歓送迎会を開催し、親交を温めました。

近隣支部交流懇親会

昨年第一回一泊交流会が開催され、本部役員、支部役員のみでしたが、今回二回目として、平成二十六年六月十四日一般会員を含む、日帰り交流会を湯本温泉「大谷山荘」で開催した。

費用の関係上、新山口までは、個人ごとに集合し、大谷山荘さんの送迎バスにて、会場に行き、先は入浴等（各種の風呂、ジャグジー、露天、その他色々）リラックスした雰囲気で、昼食懇親会となり、楽しい一時を過ごすことになりました。参加者は二十人前後でしたが、来年も計画しており、多数のご参加を期待し、工業会の活性ならん事を祈っています

参加者は次の通りです。

会長	河村	正浩	C39	副会長	佃	俊之	C41
顧務理事	黒田	義則	M34	専務理事	槌尾	博之	M35
理事	徳原	英昭	C39	理事	藤田	文明	M48
監事	山本	一夫	T41	光	林	洋司	M30
光	山本	和男	M36	光	吉水	龍志	C46
光	増原	章右	M26	光	小川	勇	C29
周南	山本	哲夫	C44				

周南　水井　貴士　M29
周南　内山　高生　M43
下松　植中新太郎　C39
下松　白井　春好　M41
柳井　有永　房夫　M42
岩国　中谷　俊豊　M42
以上　十九名

当工業会では地域活性化の先導役として、充実した活動を展開されることを祈っている。

思春期講演会

～母校にて～

思春期講演会開催支援！

平成26年1月8日母校体育館において標記講演会が全校生徒、教職員、保護者を対象に開催された。



当該講習会は「いずれ一人で生きていく君たちへ～カッコイイ大人への道しるべ～」と題して行われた。

福岡県行橋市の産院で助産師として活躍されている内田美智子先生の講演によるもので、本講演会の開催にあたっては当下松工業会広島支部の支援があったとのことである。

この講演会は、現代社会において、「人」や「モノ」を大切にしない、言動等の問題行動が見られるので、専門家の講演を通して、人間やモノの「いのち」や「生きること」を考える機会にしてもらいたいという企図で開催されたものである。

この世に生命を得て、今、下松工業高等学校生徒として、生きていることの意味や、思春期の身体づくりとして食事の大切さなど、聞くものに興味を持たせ考えるきっかけになるような内容であった。

本件に関しては、当時の母校村中一雄前校長より丁重なる礼状を頂いたことを報告させていただく。

彩沢寮同窓会（S42卒）の開催

下工入学から50年が経ち、同じ釜の飯を食べた同級生と初めての同窓会を10月20日、一泊で周防大島町のサンシャインザンセトで行った。寮誌彩沢16号の在舎生名鑑2年生24名（案内22名、不明1名、死亡1名）の内、参加者14名（出身：周防大島及び八島9名、徳地及び須金5名）で集合時間より2時間も早く集まり、昔の面影のある人、初対面のような人もいたが、数分するとすぐ50年前の同級生になり、寮時代の思い出話になった。

振鈴当番、買物当番、3年生の洗濯等、反省会、棒ラーメンを食べた事、公集小グランドでの運動、先輩の消灯後の呼出し、躾等、辛い1年生の時の思い出が大部分であった。

教育を受けた先輩の名前は何人も思い出すが、教育した後輩の名前はなかなか思い出せなかった。

懇親会前から大部屋で話が弾み、寮歌等を歌った。懇親会は昨年亡くなった丸尾君の冥福を祈り黙祷したあと、柳原寮長のあいさつ、津川君の乾杯で始まり、各自1分間スピーチで現状報告をした。

途中、1年生時の辛い思い出をクイズに出すと、ほとんどの人が50年前に戻りすぐに正解があった。寮時代の話、孫の話であっという間の2時間30分が過ぎた。

宴会終了前、次回の同窓会は3年後に決定した。懇親会の締めは住所不明で案内状、出欠のはがきも出せず、9月末に住所が判り、急遽、出席となった春藤君の1本締めで終了した。

カラオケでは寮歌、応援歌を歌おうとしたがすぐに得意な持ち歌になった。風呂にも入らず、大部屋で12時頃まで話が弾んだ。21日は朝食の後、9時半頃解散した。



活動状況報告

当工業会は、平成二十六年度事業計画の重点実施項目として、社会貢献活動・組織強化活動・母校支援活動を実施しています。

この活動の状況についてお知らせ致します。

一、社会貢献活動

これは当会が地域社会に対して、工業会組織として貢献していきたいとの決意を、行動で示していこうというものです。これらの貢献活動を通して、社会との連携を図っていきます。

具体的には、次の活動を実施しています。

①北斗町自治会　清掃作業への参加

平成二十六年五月十八日
参加者五名

平成二十六年九月二十五日
参加者二名

下松工業会館周辺、下松駅周辺、金輪神社周辺の清掃作業を、本部役員、下松支部会員の有志にて、当該自治会の皆様と行いました。

②がんばろう日本フェアの後援

二、組織強化活動

当工業会組織の地域・企業懇談会（旧支部）の充実と拡大を掲げ、停滞地域・停滞企業への支援と、新たな地域懇談会の発足に努める活動を行っています。

活動状況を報告します。

①学年幹事会の支援

新学年幹事の増員並に懇親会の開催により充実を図っています。

学年幹事会
平成二十六年十月十七日
参加者七名

学年幹事の紹介

◇平成二十四年度

M　伊藤　郁也
　嶋田　祐貴
S　手島　悠
　長尾　雄太
I　笠井　裕美
　重弘　優利
C　岡村　知典
　兼重　優気
M4　石田　裕介

◇平成二十五年度

M　井川　貴裕
　西田　成弥
S　佐々木健輔
　西村　望
I　岩本　慎哉
　山田　拓哉
C　香西裕次郎
　杉村　卓哉
　石村亮太郎
M4　松原　直樹
　上田　和則

M　システム機械科
S　電子機械科
I　情報電子科
C　化学工業科
M4　定時制機械科

②さくらクラブの充実

さくらクラブ（女子会）の親睦交流拡大を目指し平成二十六年十月二十五日に当工業会館で総会が開催されました。

参加者

代表　藤本　弘子（E47）
幹事　日野　保恵（C33）
幹事　田中　静子（C33）
幹事　高村　幸江（C34）
幹事　藤田　圭子（C34）
幹事　福永　知佐子（C42）
幹事　河村　明美（C45）
幹事　広実　みち代（C54）



三、母校支援活動

本年度の支援活動は、育英奨学金事業、文化体育活動支援事業助成金の交付、庭木剪定作業、母校体育祭への参加等実施しました。

①育英奨学金事業

奨学金は九名に年間各六万円を交付します。

②文化体育活動支援事業助成金の交付

本件は、母校からの要請により随時実施していますが、本年度はロボット研究部、ものづくり同好会、ハンドボール部、剣道部、登山部、定時制柔道部、定時制卓球部、吹奏楽部に支援しました。

③庭木剪定作業

11月22日母校剪定作業を実施した。

参加者

国弘　成文
栗田　一郎
藤田　文明
中村　明夫（母校）
濱谷　和昌
中津井　均
大木　孝行
倉重　泰夫（母校）
西本　利（あすなろ工業）

④母校体育祭参加

九月六日河村会長ほか本会員六名が、借物競争に参加しました。

⑤母校面接練習指導

九月十一日六名にて就職活動の為面接試験に向けて、面接練習に協力しました。昔の初々しい自分を思い出しました。

参加者

野田　典泰（C34）
林　洋司（M30）



早川　昭男（E38）
栗田　一郎（C40）
山上　雅弘（C48）

M36同期会

平成26年5月12日　千葉県ふるさと村山荘



M35同窓会

幹事：清木　一男

5月24日、総勢16名の参加により6回目の同窓会が下松工業会館で開催された。孫のようなお姉さんを多数交え、飲食の合間に近況報告がありましたが、その内容は若かりし頃の悪い遊びと加齢病による体調変化で投薬や手術伝々が話の中心でした。

二次会のカラオケは全員参加で歌と話を満喫し散会となりました。

同窓会は何年過ぎてもタイムスリップして学生時代の思い出話に花が咲いて楽しいですね。又、同窓会に参加し級友と話ができる事は健康であるという大きな幸せを感じた一日でした。

来年も開催したい願望はいっぱいですが？？？

卒業生39名中（消息不明者7名、永眠者7名を除き）25名に案内状を発送、参加者は16名であった。参加者のうち県外の内訳は横浜、名古屋、大阪、神戸、松山、大分計6名であった。

M27クラス会

9月25日下松市きらぼし館にて11名の参加者にて開催しました。

平成24年傘寿の集まり最後の全体同窓会を開催して、その後は年2回定期的に防府、周南、下松、光在住の13名が親睦を深めている。

幹事　相本　晴信
　　中村　幸男
　　清水　誠



最後にこの紙面をお借りして上野先生（２０１３年没）、川尻先生（２０１４年没）のご冥福をお祈りします。

M35関東地区同期会

文責・海野　征夫

平成26年10月21日（火）、千葉県市原市姉ヶ崎駅前の中華料理店で開催いたしました。

お互いに近況報告をしあい、久々の再会を懐かしみあいながらのひと時を有意義に過ごし、次回の再会を楽しみに散会いたしました。

当日の参加者は田中雅士、宮本恵郷、山縣健治、原秀顯、岩本興治、海野征夫、藤井秀男の7名でした。

今回の幹事・藤井氏、次回の幹事・宮本氏です幹事さんありがとうございました。次回もよろしくお願いします。

企業・地域代表者懇親会



5月7日33名
12月2日45名
情報交換・親睦のために開催された。

支部紹介

福岡支部

福岡支部長　福田　忠義



お忙しいところご参加を賜り誠にありがとうございました。

学校長・河村会長をはじめ本部役員の皆様にも多数おいでいただき賑々しく開催できました。40有余年のタイムトンネルを一気に潜り抜け思い出を語れるのは本当に嬉しく愉快なものですね。

学校長のお話でよくわかりましたし『同窓会大事・・・職員にその存在をしっかり示さねば・・』の言葉はうれしい限りでした。『エール』で態度にもお示しいただき・・・なんとなく胸を張ったのは私一人でしょうか。

次回の開催日　平成27年11月7日（土）ステーションホテル小倉12：00～

今年の北村さんのように初参加者ができますようお知り合いに声をかけて頂きますようお願いいたします。

防府支部

支部長　宮川　豊（M34）

8月22日割烹「中谷」再生第二回総会、懇親会を開催。母校校長代理中村明夫教諭が代読で、校長メッセージが披露された。

下松市役所支部

総会　1月24日

柳井支部

総会　2月22日

下松支部

花見の会　3月29日
総会　6月20日
月見の会　9月19日

日立笠戸支部

総会　4月18日
ビアパーティー　7月18日

トクヤマ支部

総会　5月9日

東洋鋼鈑支部

総会　6月2日

日石ＯＢ会

総会　6月26日

熊毛支部

総会　6月28日

光支部

総会　7月6日

周南支部

総会　9月20日

広島支部

総会　10月31日

東京支部

総会　11月29日

岩国支部

総会　12月6日

大島支部

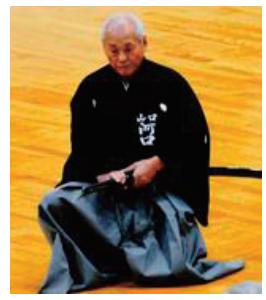
総会　12月6日

褒章・受賞　おめでとう

旭日双光章　高山佳昌（C33）
旭日単光章　廣中典夫（C30）
厚生労働大臣賞
平成26年度職業能力開発　内山和美（E49）
県文化功労賞　河村正浩（C39）
下松市市政75周年功労賞
教育　上田敬正（C33）故人
行政　蔵田幸男（M44）
平成26年度技能五輪全国大会
機械製図部門　銅賞　伊藤郁也（MH25）
施盤部門　銅賞　大西　光（SH24）

頑張っています

「天覧演武」の栄誉に…



今般、（平成二十六年十月五日）皇居北の丸公園の日本武道館で同窓生の河口俊彦氏（C33）が剣道の部（居合道）で、天皇・皇后両陛下のご臨席のもとで、「天覧演武」の栄誉に浴された。

この演武は、日本武道館開設五十周年を記念する式典の中で演じられたもので、日本武道祭として挙行されたもの。氏は母校卒業後、東ソー（株）に入社され、南陽道場居合道研究会に入門し精進を重ねられて「夢想神伝流」の正義を教授された。平成十五年全日本剣道連盟居合道委員に就任され現在同委員長の要職にある。剣道居合道の普及振興に傾注され、武道を通じて青少年の育成に努められている。居合道とは剣道と表裏一体の関係にあり、日本刀の操作に由来するものである。静の中の一瞬の動き、抜刀の瞬間に勝負をかけるその修行には、心身の鍛錬、精神の統一、呼吸法の会得が必要である。現在河口氏は地元周南市において、地域武道発展に尽力されており、今後より一層のご活躍を期待している。

「いつでも、だれでも、どこでも、できる、ゆる体操で、死ぬまで元気」



M35　川岡　善三

平成十六年六月、下松のザ・モール周南で定年を迎え、故郷の周防大島でのんびり百姓でもと帰ってきました。四七歳の時「悪性リンパ腫」の摘出手術を「札幌医大」で受け、以降、元気で生き続けることの重要性を強く意識し、激しいトレーニング（ジム通い、ウォーキングなど）を実行しましたが、ひざ痛、風邪をひくなど満足いくものではありませんでした。平成十五年に「生涯現役シンポジウム」で「ゆる体操」に出会いました。それは、誰でも気軽に取り組め、全く無理のない、お金もかからないものでした。これこそ本物と確信し、今日まで継続しています。身体は、鍛えるより、ゆるめることで、本来人間に備わっている、免疫力、自然治癒力、新陳代謝などの力を引き出すことが可能になるのです。もっと大切なのは、酸素です。人間は酸素が不足すると先ず「死なない為に」酸素を使います。「ブラッド・シフト」といい、脳や、心臓、肺、腸などに優先的に供給するのです。常に血液をサラサラの状態にし、全身に酸素や、栄養素を供給、老廃物を体外に廃出することが絶対に必要です。だから、「ゆる体操」教室（町内で週二日、六会場で開催）では、腹式呼吸の練習、実践を行います。私はお陰で健康で、全く医療のお世話になっていません。ゆる体操を続けている方々も、肩こり、腰痛の改善、歩き方の改善で、ひざ痛、股関節、背中のまがったのがなおった、など嬉しい報告がいっぱいです。身体を鍛えるのではなく、本来持っている能力を引き出すのです。そして実践あるのみです。下松や光などでもやっています。ご参加を待っています。

平成26年度本部役員

会長　河村　正浩（C39）
副会長　内山　和美（E49）
副会長　佃　俊之（C41）
副会長　国弘　成文（C42）
理事　槌尾　博之（M35）
理事　栗田　一郎（C40）
理事　石井　道明（E47）
理事　徳原　英昭（M48）
理事　藤田　文明（C39）
理事　岩村　修（M44）
理事　中村　明夫（M54）
理事　中津井　均（MH10）
監事　濱谷　和昌（C30）
監事　蔵田　幸男（M44）
監事　岡野　傳司（C40）
顧問　山本　一夫（T40）
顧問　増本　安男（C18）

下松工業会行事及び成績

麻雀大会（H26.2.9）
優勝　河野谷　功（E49）
2位　沖田　秀人（C56）
3位　植中新太郎（C39）
4位　山形　捷児（M38）
5位　廣永　龍男（M34）
BB　山部　義弘（C44）

ボウリング大会（H26.3.4）
優勝　徳光　由香（母校）
2位　関谷　昌人（M37）
3位　原田　一義（EH06）
4位　叶井　武敏（E58）
5位　藤井　克介（母校）
6位　平石　倫男（M56）
7位　渡辺　孝之（T43）
8位　小松祐一郎（M36）
9位　山根　正則（M40）
10位　小山　誠之（母校）
HG賞　平石　倫男（M56）

定期総会（H26.5.17）
於、下松「きらぼし館」
母校吹奏楽部演奏と総会講演、黒田　義則氏（M34）「山の話　あれこれ」
出席者103名

ゴルフ大会（H26.10.7）
優勝　山本　俊男（C32）
2位　長田　勝一（M42）
3位　河野　寿夫（C40）
4位　池　正文（CH10）
5位　松村　国登（C38）
6位　宝島　勝興（M38）
7位　国重　伸房（M32）
8位　内山　智（C46）
9位　野田　郁夫（C40）
10位　林　重男（E41）
ベスグロ賞
宝島勝興76（アウト39）（イン37）
参加者80名

お知らせ下さい

私の所に会報が来ないという方があります。その多くは工業会名簿で住所不明となっています。住所変更は必ずご連絡ください。

同級生の動向
受章・受賞（あらゆる分野）
慶事、物故者
その他

お願い

母校や同窓会に名を借りた振り込み詐欺を始めとし、新聞広告、資格取得及び同窓会名簿の企画などの勧誘にご注意下さい。母校又は同窓会（下松工業会）の署名押印のないものは一切受け付けないで下さい。

下松工業会には全同窓生に是非とも加入して頂きたく思います。会費は年間千円です。未加入の方は、同封の振替用紙にて納入頂ければ、即、手続き致します。宜しくお願い申し上げます。

予告

◇麻雀大会
平成二十七年二月八日
午前十時～午後三時
下松工業会館　会費二千円

◇ボウリング大会
平成二十七年三月三日
くだまつスポーツセンター
会費千円　終了後　懇親会

◇平成二十七年度定時総会
平成二十七年五月十六日
総会
講演「東日本大震災に関わり続けて今思う事」
（講師：竹内公昭先生）
懇親会

◇ゴルフ大会
平成二十七年十月上旬

参加希望の方は、工業会事務局までご連絡下さい。詳しいご案内を致します。

編集後記

今年一年の活動の総まとめ、一般社団法人として発足三年目の今「七彩」も何とか三号発行の運びとなりました。

母校をはじめ同窓会会員が今年一年活動・活躍された内容がぎっしりとつまっています。出来ればゆっくりと記事の内容を隅々まで目を通していただきたいものです。

今年一年を振り返ると、相変わらず目を覆う災害が多く発生しました。

近くでは広島での豪雨災害、最も印象に残っているのは御嶽山噴火による被災・・・・。

この災害に巻き込まれた同窓生はいないか心配しました。そうした中工業会では、「定款」等規程集の見直しが進められ、又工業会館の老朽化により建物の改築・立て替え等の検討もされています。いろんな課題が山積していますが、母校創立百周年に向けて、役員一同一体となって活動していく所存です。今後も皆様のご協力を切にお願い致します！

平成26年度　母校部活動戦績

●ハンドボール
第65回中国高等学校選手権大会山口予選会　準優勝
第65回中国高等学校選手権大会　第3位
第65回山口県高等学校総合体育大会　第3位
平成26年度山口県体育大会　準優勝

●登山部
山口県高等学校総合体育大会　団体男子　優勝
全国高等学校総合体育大会　団体男子　9位
中国高等学校登山大会　団体男子　3位
山口県体育大会　個人縦走
1位　岡本　2位　巽　3位　幡部

●ソフトテニス
山口県春季高校選手権　ペア　ベスト16
山口県高校総体　団体　ベスト8
山口県体育大会兼選抜大会県予選　団体　第1位
個人　ペア優勝（原田・藤井ペア）

●サッカー
山口県高校総体　2回戦敗退

●硬式野球
春季山口県高等学校野球大会　2回戦敗退
第96回全国高等学校野球選手権大会山口大会　1回戦敗退

●バスケットボール
山口県高校総体　ベスト8
徳山地区新人大会　優勝
選抜大会県予選　ベスト8

●弓道
中国高等学校弓道新人大会　団体　ベスト16
中国大会予選　団体　5位
県総体　団体　3位
中国新人予選　団体　3位
全国選抜予選　団体　2位

●剣道
全国高校総体　2敗
中国大会　1勝1敗
中国大会予選　団体戦　1位
山口県体育大会　団体戦　1位
個人戦　中村　1位

●柔道
第65回山口県高等学校総合体育大会
個人66kg級　2位　片山

●陸上競技
第59回山口県高等学校新人陸上競技大会
男子1600mリレー準決勝出場

●バレーボール
県高校総体　1回戦敗退

●ものづくり同好会
全国選抜高校生溶接コンクール　優良賞　松曳
高校生ものづくりコンテスト　第3位　小滝
「化学分析部門」全国大会

●ロボット研究
山口県高等学校ロボット競技大会 下工友愛　4位
第22回全国高等学校ロボット競技大会出場

●吹奏楽
第53回全日本吹奏楽コンクール山口県
高等学校の部小編成部門　銀賞